

出社状況可視化システムの検討

株式会社東芝

田中 里奈

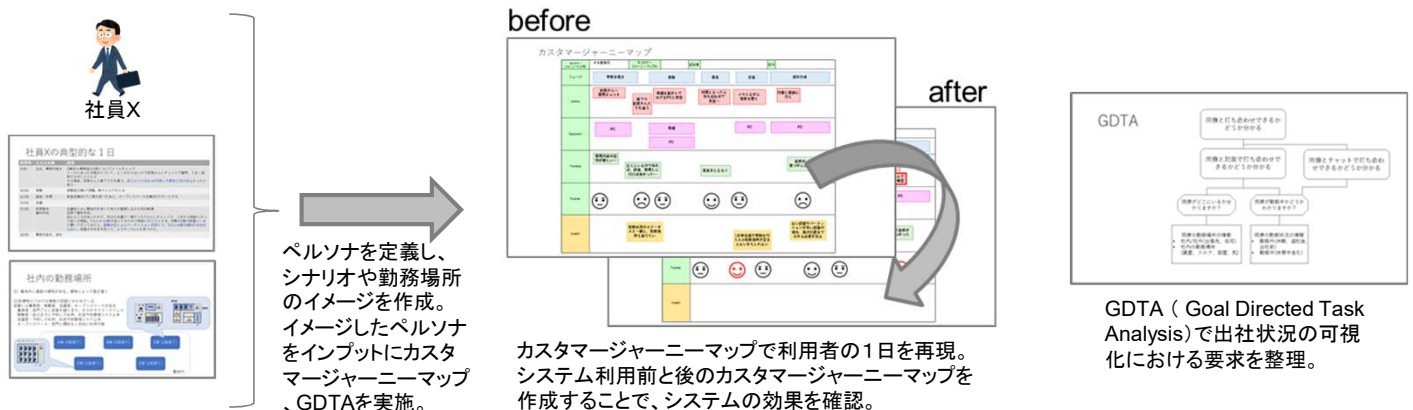
開発における問題点

新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅勤務の適用が進んだ。これにより、感染症の終息後には、出社者と在宅勤務者の混在した、働く場所に自由度の高い働き方が浸透していくと想定される。その様な状況下においても、チームのコミュニケーションを円滑にし、生産性を高めていく必要がある。

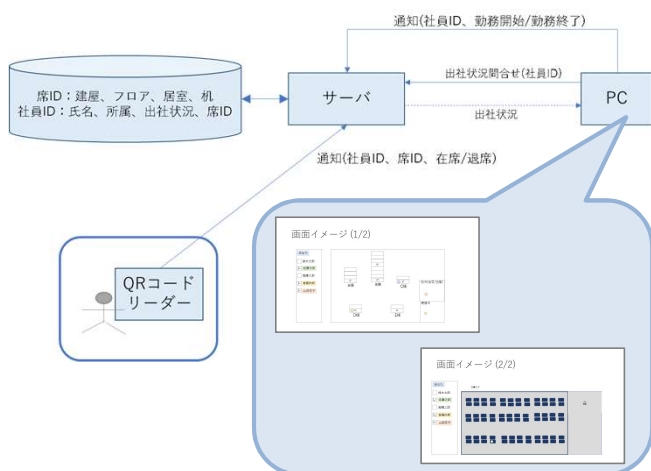
手法・ツールの適用による解決

顧客の視点で体験を時系列で把握することで課題の改善を目指す要求獲得手法であるカスタマージャーニーマップと、状況認知に着目した要求獲得手法であるGDTAを用いて、システムの要求を分析。勤務ステータスと勤務場所を可視化するシステムを提案した。

カスタマージャーニーマップとGDTAを適用した要求分析



提案システム



適用の効果

カスタマージャーニーマップとGDTAを組み合わせることで、効率的に要求獲得できることを確認

カスタマージャーニーマップ

- 要求を深堀する有効な手法
- ペルソナの定義が曖昧な場合、ActionやThiningが思いつけない課題もある
←シナリオを作成することでペルソナを補完

GDTA

- ゴールの構造化により、俯瞰的に要求を把握可能